

## 議会報告会報告書

開催日時	平成30年11月16日（金）午後7時00分～8時55分		
開催場所	大江中学校 ランチルーム（別館）		
出席議員	堀端 脩、殿村峰代、田中正浩、米倉芳周、中村良子、山本芳敬、山本 節		
	司会進行者	殿村峰代	
	報告者	米倉芳周、山本芳敬、中村良子、山本 節	
	記録者	米倉芳周	
参加人数	23名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 中島 清晴 様

平成30年11月20日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第1班

代表者 堀端 脩

## 【第一部の主な質疑応答・意見等】

問 ブロック壁の危険箇所というのは何箇所あるのか。

答 公共施設は 47 箇所あり、その中で、学校関係周辺では 46 箇所ある。

問 「みどりのカーテン事業」の内容は。

答 松阪市パートナーシップ会議において、8 年ほど前から行っている事業である。涼しい環境づくりとして公共施設を中心に設置され、コンテストも開催されている。市民には「あさがお」、「ごうや」の苗を無料で配布をしている。

問 危険とされるブロック壁を何とかしてほしいという自治会に相談があり、各自に実費を負担してもらい、自治会の「出合い」などで処理しようと考えたが、数が多くなることが予想され、断念した経緯がある。今回、ご報告いただいた補助金制度ができたことに感謝する。そこで、お尋ねする。

この補助金の申請は、個人が行うのか。また、自治会でも申請できるのか。

答 この新制度は、総務企画委員会が行政へ意見書として提出されたことを機に、設置された制度である。ブロック塀の補助金申請は所有者に行っていただくことが基本である。

問 現在の市の財政の借金は増えているのではないか。

答 29 年度一般会計では、市税は 34%、自主財源 43%で、地方交付税も減少傾向にあり、財源としては増加していないのが現状である。そのような中、30 年度、31 年度の 2 年間に、鎌田中学校建設、粥見小学校建設、北部給食センター建設、春日保育園建設、福祉会館改築等、文教関連経費を中心に集中投資を実施している。よって、おっしゃる通り借金である公債費は増加しているのは事実であるが、計画的に臨時財政対策債の調整及び、市の預金である財政調整金約 100 億円で短期償還と合併特例債の有効利用を行い、市債残高を 26 年度末の数字にもっていく予定であるので、ご理解願う。

問 水道料金が 2 ヶ月に 1 回の集金となったが、2 ヶ月を一つの期間として基本料金が設定され、使用するごとに加算されていくと思っていたが、実際は通常料金の月額と変わらない。寧ろ使用すれば、するほど高くなっていく。これはおかしいのではないか。

また、例えば先月 10 μ 使用、今月 30 μ した場合は、合計 40 μ として基本料金を加算して請求となる。この場合は、本当に消費者にあった料金体系と言えるのか。

答 料金改正が 2 ヶ月になったわけではなく、集金改正が 2 ヶ月に 1 回になったということである。基本料金は毎月かかってくる。また、市の料金制度は重量料金で、使えば使うほど料金は高くなっていくことから、合算請求が今後、家計に及ぼす影響等は検討する。

問 総合公園のスケートパークの件だが、この構想はどこから出てきたのか。利用する人口も少ないであろうこのスポーツが 3 億円の費用を掛けて設置されることは、理解に苦しむ。予算の使い方のチェックを議会としてお願いしたい。

答 15 年ほど前にあちらこちらで、子供たちが路上で遊ぶスケートボードについての近所の迷惑、危険性等の議論が湧いてきて、専用の場づくりができればという意見があった。その後、市民より議会に専用施設設置の請願書として提出があり、採択されたという経緯がある。本格的な施設としては東海地区で初であり、全国大会が可能な施設として整備される。市の活性化となればと考える。

問 この度の台風被害で、国道 166 号線が一部通行止めになっている。ここ大石地区周辺には、情報が入ってこない。どのようになっているのか。

答 市のホームページ、地区の回覧版にて情報開示を行っていると思うが、この地区においての情報の共有について、直ちに確認する。状況としては、県からの報告によると、長らく通行止めになっている一部飯南地区については、12 月 7 日から片側通行が可能となる予定である。

## 第 2 部用【地域の中の学校づくりについて】

### 【主な質疑応答・意見等】

問 鎌田中学校区のコミュニティースクールの状況は。

答 市のモデル地区となっていて活発な活動を行っていただいている。学校運営協議会を設置し、自治会、まちづくり協議会、学校・父兄の 3 者が一体となって、学校運営に携わっている。

問 大江中学校はこれからどうするのか。

答 大江中学校の学校区は南小学校のみで、生徒数も少ないのが現状である。ちなみに、来年度の小学校卒業生は 15 名である。進路については内定されていないが、それぞれの保護者が決定するものとする。

現在、大江中学校の将来を考える在り方検討委員会が中心となって、協議運営中であるため、議会としての意見は差し控えたい。

問 学童保育の放課後児童クラブについて、ここ南小学校「どんぐりっこ」は古い施設で、人数も 10 人と少なく、支援員の確保も難しい現状にある。このような放課後児童クラブに対し、市として「今後どのように支援すべきなのか」

という議論をしていただきたい。現実問題として支援員の確保には是非、目を向けてほしい。

**答** 放課後児童クラブにおいては、施設の老朽化やキャパシティ、事務処理の煩雑さ等の問題点がある。また、この度、外部委託も可能となったが、経費面での負担増となっている。これら解決には、地域を巻き込んだ方策が必要と考える。東部地区の話であるが、朝見地区と機殿地区が合同で事業を行っている例もある。逆に、もっと地域から声をあげていただきたい。

**問** 地区水泳について、今年も猛暑対策で水泳中止を何度か行った。教育委員会がガイドラインを示してほしい。

**答** この件については、教育委員会が対応すると述べている。

**意見** 児童が横断歩道で立っていても、車が止まらない現状がある。このような車の取締りの強化を願う。

**意見** 松阪市には、全国、県中学生大会、インターハイができる場所、施設がない。体育館においてもエアコンがないため、開催できない。市として大会会場になる場所、施設を考える必要があるのではないか。

**意見** 大江中学校を残してほしい。中学校への進路について、保護者に選択肢があるような話を耳にするが、果たしてそうなのか。この地区の生徒は大江中学校へ行くべきではないのか。

以上